

3 事業報告書

事業報告書

平成27年度 (平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(1) 農作物共済関係

(水稲引受)

区分	項目 組合名	組合員数	引受面積	引受収量	共済金額	保険金額	通常歩合 保険金額	徴収保険料	交付金又は 納入再保険料	手持保険料
		人	a	kg	円	円	円	円	円	円
水稲	やまと北部	5,769	223,345.5	7,770,632	1,517,237,476	1,500,244,416	7,282,739			
	北和	3,087	107,065.6	3,859,539	749,437,320	743,142,047	2,697,974			
	磯城	3,137	116,062.3	4,175,318	801,850,300	794,553,462	3,127,215			
	宇陀	2,111	82,068.3	2,698,515	526,817,812	519,442,362	3,160,906			
	中和	4,002	127,208.6	4,536,639	888,411,345	879,705,022	3,731,279			
	葛城	4,043	124,214.3	4,451,492	867,813,884	861,131,717	2,863,785			
	南和	1,497	54,111.1	1,788,442	346,410,148	342,045,380	1,870,614			
計	23,646	834,075.7	29,280,577	5,697,978,285	5,640,264,406	24,734,512	38,112,631	△ 33,739,141	4,373,490	

(麦引受)

区分	項目 組合名	組合員数	引受面積	引受収量	共済金額	保険金額	通常歩合 保険金額	徴収保険料	交付金又は 納入再保険料	手持保険料	
		人	a	kg	円	円	円	円	円	円	
麦類	平成27年産	やまと北部	1	438.7	5,695	39,865	38,699	388			
		北和	5	343.9	4,624	64,736	62,503	744			
		磯城	11	7,894.0	111,072	2,033,283	1,999,734	11,183			
		中和	1	529.3	4,226	59,164	57,389	591			
		葛城	2	1,328.6	18,582	130,074	125,001	1,690			
		南和	4	218.4	3,624	50,736	49,100	545			
		計	24	10,752.9	147,823	2,377,858	2,332,426	15,141			
	平成28年産	やまと北部	2	456.2	6,236	56,124	54,609	505			
		北和	5	343.1	5,453	92,701	90,059	880			
		磯城	12	7,618.8	108,991	2,348,165	2,307,659	13,501			
		中和	2	549.8	5,548	94,316	91,769	848			
		葛城	3	1,302.2	17,654	158,886	152,451	2,144			
		南和	4	421.2	6,487	110,279	107,136	1,047			
		計	28	10,691.3	150,369	2,860,471	2,803,683	18,925			

引受の概況

(水稲)

平成27年産水稲の作付面積は、8,870haと前年産より190ha減少、収穫量は45,700tと前年より900t減少した。27年産水稲の生産目標数量が41,690tと26年産より150t減少となった。平成27年産水稲の引受実績については、実戸数23,448戸(対前年611戸減)、引受面積834,075.7a(対前年18,465.3a減)となった。

(麦)

平成27年産小麦の作付面積は110haと前年産より1ha増、収穫量は220tと前年産より53t減となった。平成28年産麦の引受実績については、引受戸数28戸(対前年4戸増)、引受面積10,691.3a(対前年61.6a減)であった。

(水稲被害)

区分	項目 組合名	被害組合員数	共済減収量	被害面積	共 済 金	保 険 金	共 済 金
							共済金額
		人	kg	a	円	円	%
水 稲	やまと北部	249	62,150	3,410.0	12,181,400	3,654,420	0.80
	北 和	26	4,549	213.0	891,604	267,481	0.12
	磯 城	34	4,732	406.9	927,472	278,241	0.12
	宇 陀	157	37,810	2,840.7	7,404,988	2,221,496	1.41
	中 和	27	4,461	302.2	874,356	262,306	0.10
	葛 城	4	441	30.5	86,436	25,930	0.01
	南 和	120	17,686	1,678.5	3,396,100	1,018,830	0.98
	計	617	131,829	8,881.8	25,762,356	7,728,704	0.45

(麦被害)

区分	項目 組合名	被害組合員数	共済減収量	被害面積	共 済 金	保 険 金	共 済 金
							共済金額
		人	kg	a	円	円	%
麦 1 類	やまと北部	0	0	0.0	0	0	-
	北 和	0	0	0.0	0	0	-
	磯 城	0	0	0.0	0	0	-
	中 和	0	0	0.0	0	0	-
	葛 城	0	0	0.0	0	0	-
	南 和	0	0	0.0	0	0	-
		計	0	0	0.0	0	0

(支 払)

区 分	項 目	支払年月日	支払保険金	保 険 金 支 払 財 源				
				再保険金	手持保険料 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他
			円	円	円	円	円	円
水 稲		平成27年12月14日	7,728,704		4,373,490	3,355,214		
麦 1 類			0					

被害及び評価の概況

(水 稲)

6月～7月上旬は気温と日照時間が平年を下回ったため、分けつは抑制され、生育は遅れ気味となった。しかし、それ以降は高温・多照に経過したことから、茎葉の伸長や分けつが促され、生育遅れは回復した。また、中山間部ではイネばか苗病、いもち病による病害やシカやイノシシによる食害が一部圃場で発生した。

平野部の収穫時期は8月中旬～9月上旬にかけての寡照や8月中旬以降の低温の影響で、収穫期が平年よりも4日程度遅くなった。病害虫については、穂いもち病や稲こうじ病が一部圃場で発生した。

本年産水稲10a 当たり収穫量は515kg、作況指数は100となった。

(損害防止)

県病害虫防除所の病害虫発生予察情報の配布と、損害防止に関する知識並びに技術の向上を図るための研修会、講習会を開催した。また、組合の行う水稲損害防止事業に対してその経費の一部を負担した。

(麦)

経営所得安定対策に係る集落営農組織・担い手農家等を中心に栽培された。播種は作業適期に長雨が続いたため、一部生産圃場で作業が遅れた。また、12月～1月にかけては気温が低く生育が遅延した。

3月以降の気温は高く推移し、冬の生育遅延は回復傾向であった。一方、3月中旬～4月上旬のまとまった降雨により、排水対策が不十分だった一部の圃場については湿害による生育不良が発生したが軽微であった。

出穂期は4月中旬頃で、平年よりもやや早く、出穂期以降も高温で推移したため、収穫作業は昨年よりも6日早い6月2日に始まった。

赤かび病等の病害虫は特に問題にならなかった。

以上のことから農家からの被害申告が無く、平成27年産の麦は無被害となった。

(損害防止)

県病害虫防除所の病害虫発生予察情報を配布した。

(2) 家畜共済関係

(引 受)

区分	項目		引受頭数	引受頭数 事業計画頭数	共済金額	保険金額	再保険金額	徴収保険料	組合 交付金	納 入 再保険料	交 付 金	手持保険料	技 術 料	
	有資格 頭数	事業計画 頭数												
乳 用 牛	3,680	3,540	3,511	99.18%	804,691,683	643,753,346	402,345,841	7,264,397			16,352,246	23,616,643	32,893,896	
肉 用 牛	(450) 3,710	2,930	(399) 3,022	103.14%	(21,473,900) 468,722,986		374,978,388	234,361,493	3,138,816	4,605	2,287,183	5,421,394	4,664,229	
計	7,390	6,470	うち乳追加 154 うち肉追加 10 6,533	100.97%	(21,473,900) 1,273,414,689		1,018,731,734	636,707,334	10,403,213	4,605	0	18,639,429	29,038,037	37,558,125

引受の概況

飼料価格及び素牛価格の高値が続き、畜産農家を取り巻く環境は依然厳しく、経営者の高齢化や後継者不足により6戸の廃業等があった。

引受頭数では、乳用牛で141頭減少したものの、肉用牛で38頭増加となった。

共済金額では、乳用牛で減少したものの、肉用牛では家畜の評価額が上がったため増加となった。

(組合別内訳)

組合名	乳 牛 の 雌					肉 用 牛 等					合 計		
	頭 数				共済金額	頭 数				共済金額	頭 数	共済金額	
	成乳牛	育成乳牛	乳牛の 子牛等	計		肥育用 成牛	肥育用 子牛	その他の 肉用成牛	その他の 肉用子牛等				計
やまと北部	1,306	31		1,337	332,244,048	43				43	9,117,676	1,380	341,361,724
北 和	176	5		181	28,159,560	64		1	(1)	67	(129,500)	(1)	(129,500)
磯 城													
宇 陀	330	28		358	71,304,050	805		256	(199)	(199)	(10,909,500)	(199)	(10,909,500)
中 和	275	11		286	55,354,650					(0)		(0)	(0)
葛 城	425	23		448	89,709,804					0		448	89,709,804
南 和	868	33		901	227,919,571	1,141	80	181	(199)	(199)	(10,434,900)	(199)	(10,434,900)
計	追加 147 3,380	追加 7 131	追加 154 0	追加 154 3,511	804,691,683	追加 6 2,053	追加 80	追加 1 438	追加 3 (399)	追加 10 (399)	追加 164 468,722,986	追加 164 6,533	追加 164 1,273,414,689

注1：()内は胎児の数

注2：追加及び胎児は引受の内数

(家畜事故)

区分	項目	死 産 事 故					病 傷 事 故					合 計		
		死 亡 頭	産 用 頭	総頭数 頭	支払共済金 円	支払保険金 円	再保険金 円	件数 件	支払共済金 円	支払保険金 円	再保険金 円	支払共済金 円	支払保険金 円	再保険金 円
成 乳 牛		138	128	266	56,088,075	44,870,370	28,043,890	3,079	48,926,656	15,009,998	9,381,248	105,014,731	59,880,368	37,425,138
育 成 乳 牛		1	3	4	587,878	470,301	293,936	57	585,160	218,584	136,615	1,173,038	688,885	430,551
乳 用 子 牛 等														
肥 育 用 成 牛		24	21	45	5,168,880	4,135,083	2,584,415	627	6,185,320	2,394,616	1,496,635	11,354,200	6,529,699	4,081,050
肥 育 用 子 牛		16	3	19	1,179,973	943,973	589,973	178	1,593,510	531,160	331,975	2,773,483	1,475,133	921,948
その他の肉用成牛		7	2	9	1,688,308	1,350,642	844,148	139	1,481,770	580,984	363,115	3,170,078	1,931,626	1,207,263
その他の肉用子牛等		(56)	(0)	(56)	(2,826,006)	(2,260,780)	(1,412,964)	(109)	(1,326,790)	(387,448)	(242,155)	(4,152,796)	(2,648,228)	(1,655,119)
		59	0	59	3,124,651	2,499,696	1,562,286	114	1,354,610	396,448	247,780	4,479,261	2,896,144	1,810,066
合 計		(56)	(0)	(56)	(2,826,006)	(2,260,780)	(1,412,964)	(109)	(1,326,790)	(387,448)	(242,155)	(4,152,796)	(2,648,228)	(1,655,119)
		245	157	402	67,837,765	54,270,065	33,918,648	4,194	60,127,026	19,131,790	11,957,368	127,964,791	73,401,855	45,876,016

(死産事故組合別内訳)

区分 組合名	成 乳 牛		育 成 乳 牛		乳 用 子 牛 等 (うち胎児)		肥 育 用 成 牛		肥 育 用 子 牛		そ の 他 の 肉 用 成 牛		そ の 他 の 肉 用 子 牛 等 (うち胎児)		合 計		
	頭 数	共済金 保険金 円	頭 数	共済金 保険金 円	頭 数	共済金 保険金 円	頭 数	共済金 保険金 円	頭 数	共済金 保険金 円	頭 数	共済金 保険金 円	頭 数	共済金 保険金 円	頭 数	共 済 金 保 険 金 円	
やまと 北 部	100	26,418,796 21,135,006							1						101	26,418,796 21,135,006	
北 和	11	1,295,405 1,036,319							1	101,580 81,264					12	1,396,985 1,117,583	
磯 城																	
宇 陀	16	2,372,903 1,898,316						11	1,434,852 1,147,875			4	778,259 622,605	20	1,074,291 (775,646) (620,510)	51	5,660,305 4,528,222
中 和	19	2,428,037 1,942,421	1	142,079 113,663											20	2,570,116 2,056,084	
葛 城	35	6,325,789 5,060,621	1	144,542 115,633											36	6,470,331 5,176,254	
南 和	85	17,247,145 13,797,687	2	301,257 241,005				32	3,632,448 2,905,944	19	1,179,973 943,973	5	910,049 728,037	39	2,050,360 (39) (1,640,270)	182	25,321,232 20,256,916
合 計	266	56,088,075 44,870,370	4	587,878 470,301				45	5,168,880 4,135,083	19	1,179,973 943,973	9	1,688,308 1,350,642	59	3,124,651 (56) (2,260,780)	402	67,837,765 54,270,065

(病傷事故組合別内訳)

区分 組合名	成乳牛		育成乳牛		乳用子牛等 (うち胎児)				肥育川成牛		肥育用子牛		その他の成牛		その他の肉用子牛等 (うち胎児)				合計	
	件数	共済金 保険金	件数	共済金 保険金	件数	共済金 保険金	件数	共済金 保険金	件数	共済金 保険金	件数	共済金 保険金	件数	共済金 保険金	件数	共済金 保険金	件数	共済金 保険金	件数	共済金 保険金
	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
やまと北	748	14,340,620	5	77,280					4	35,960									757	14,453,860
北和	153	2,420,750		32,952					6	177,480			1	6,660					160	2,604,890
機城		687,360								61,880				1,712						750,952
宇陀	310	4,802,230	39	272,910					421	3,853,950			95	961,010	23	316,470	(18)	(288,650)	888	10,206,570
中和	173	1,596,880	2	25,920					1	1,550,680				406,944		88,192		(79,192)	176	3,771,992
葛城	389	3,929,510	3	49,990						11,820									392	3,967,250
南和	1,306	7,382,846	8	159,060					195	2,106,110	178	1,593,510	43	514,100	91	1,038,140	(91)	(1,038,140)	1,821	21,461,620
合計	3,079	16,050,700	57	585,160					627	6,185,320	178	1,593,510	139	1,481,770	114	1,354,610	(109)	(1,326,790)	4,194	60,127,026
		15,009,998		218,584						2,394,616		531,160		580,984		396,448		(387,448)		19,131,790

事故の概況

(死傷事故)

乳用牛では、事故頭数は前年度に対し11頭増加し270頭、支払共済金も6,044,055円の増加となった。

肉用牛では、事故頭数は前年度に対し5頭増加し132頭、支払共済金は1,957,862円の減少となった。

病類別では、乳用牛は関節炎、心不全、乳房炎、また肉用牛はその他の胎子異常、心不全、急性鼓脹症が上位を占めた。

(病傷事故)

乳用牛では、事故件数は前年度に対し88件減少し3,136件、支払共済金は2,035,404円の減少となった。

肉用牛では、事故件数は前年度に対し401件増加し1,058件、支払共済金は3,440,530円の増加となった。

病類別では、乳用牛は乳房炎、黄体遊離、第一胃食滞、また肉用牛は肺炎、気管支炎、コクシジウム病が上位を占めた。

(損害防止)

実施種目	対象頭数 又は回数	経費概算	摘要
	頭(回)	円	
特定損害防止			
健康検査			乳用牛には、周産期病対策として産前産後の股開き予防に足バンドを配布し、肉用牛には消化器病対策として、漢方配合胃腸薬を配布をした。また、組合が実施した損害防止事業に係る開蹄費用の一部助成を行った。
一般予防衛生措置	3,618	598,450	
飼養管理指導	3,618		
講習会、講話会			
損害防止			
開蹄費等助成	1,333	738,666	

(家畜診療所)

職員数	管内		診療件数		損害防止事業			摘要
	有資格 頭数	加入 頭数	共済 事故	事故外	一般	特損	経費概算	
人	頭	頭	件	件	頭(回)	頭(回)	円	
7	7,390	6,533	3,952 (109)	1,602	3,618		598,450	

(3) 果樹共済関係

(かき引受)

年度	果樹共済 再保険区分	項目		組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	保険金額	徴収保険料	交付金又は 納入再保険料	手持保険料	
		組合名										
平成 26 年 度	かき半相殺減収 総合一般方式	やまと北部	延	人	a	kg	円	円	円	/	円	
			実	45								1,261.4
			43									
	中 和	延 実	23 18	539.6	43,487	5,234,000	5,017,625	154,350				
南 和	延 実	793 507	60,856.9	9,983,778	1,147,887,000	1,096,404,267	27,974,006					
	計	延 実	3 3	延 実	861 568	62,657.9	10,174,406	1,168,925,000	1,116,542,684	28,449,967	14,069,609	42,519,576
平成 27 年 度	かき半相殺減収 総合一般方式	やまと北部	延	40	1,139.2	125,393	14,582,000	13,951,619	296,743	/	円	
			実	38								
		中 和	延 実	19 15	477.4	37,788	5,155,000	4,941,892	152,020			
	南 和	延 実	776 496	59,849.4	9,654,791	1,294,229,000	1,236,182,828	31,540,360				
	計	延 実	3 3	延 実	835 549	61,466.0	9,817,972	1,313,966,000	1,255,076,339	31,989,123	15,826,318	47,815,441

(うめ引受)

年度	果樹共済 再保険区分	項目		組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	保険金額	徴収保険料	交付金又は 納入再保険料	手持保険料
		組合名									
26 年 度	うめ半相殺減収 総合一般方式	南 和	延	225	12,348.7	793,253	79,293,000	75,629,663	2,757,077	/	円
			実	225							
	計	延 実	1 1	延 実	225 225	12,348.7	79,293,000	75,629,663	2,757,077	523,274	3,280,351
27 年 度	うめ半相殺減収 総合一般方式	南 和	延	214	11,612.1	819,380	81,349,000	77,590,676	2,828,560	/	円
			実	214							
	計	延 実	1 1	延 実	214 214	11,612.1	81,349,000	77,590,676	2,828,560	536,848	3,365,408

引受の概況

(かき)

平成27年度の引受実績は、実戸数549戸（対前年19戸減）、引受面積61,466.0a（対前年1,191.9a減）となった。新規引受による増加もあったが、後継者不足や高齢化による離農により、戸数・面積とも前年より減少した。

(うめ)

平成27年度の引受実績は、実戸数214戸（対前年11戸減）、引受面積11,612.1a（対前年736.6a減）となった。後継者不足や高齢化による離農により、戸数・面積とも前年より減少した。

(かき被害)

果樹共済 再保険区分	項目		被害組員数	認定減収量 又は損害の額	被害面積	共 済 金	保 険 金	共 済 金 共済金額
	組合名	人						
かき半相殺減収 総合一般方式	やまと北部	延	23	32,711	752.8	708,520	495,964	4.48
		実	22					
	中 和	延	2	1,495	30.0	46,100	32,270	0.88
		実	2					
	南 和	延	247	960,946	16,183.5	46,044,304	32,231,012	4.01
		実	188					
計	延	272	995,152	16,966.3	46,798,924	32,759,246	4.00	
	実	212						

(うめ被害)

果樹共済 再保険区分	項目		被害組員数	認定減収量 又は損害の額	被害面積	共 済 金	保 険 金	共 済 金 共済金額
	組合名	人						
うめ半相殺減収 総合一般方式	南 和	延	135	280,107	7,133.2	20,018,246	18,133,151	25.25
		実	135					
	計	延	135	280,107	7,133.2	20,018,246	18,133,151	25.25
		実	135					

(支 払)

果樹再保険区分	項目	支払年月日	支払保険金	保 険 金 支 払 財 源					実支払保険金
				再保険金	手持保険料 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	そ の 他	
かき半相殺減収総合一般方式		平成28年2月29日	32,759,246		32,759,246				100.0
うめ半相殺減収総合一般方式		平成27年9月18日	18,133,151	13,734,599	3,365,408			1,033,144	100.0

被害及び評価の概況

(か き)

今年3月中旬～5月下旬の気温が平年より高く推移し、発芽期は「刀根早生」、「富有」とともに平年よりも3日早く、開花期については「刀根早生」は9日、「富有」は8日早くなった(県果樹・薬草研究センター調べ)。生理的落果も少なく、着果量は平年並みであった。

果実肥大については、6月～7月上旬、8月中旬～9月が多雨・寡照であったが順調に進んだ。収穫期の果径は「刀根早生」、「富有」とも平年より、大玉傾向であった。果実の色づきは平年よりも早く進み、出荷は前進化した。

病害虫については、果樹カメムシが平年よりも多く発生し、吸汁被害による下位等級の割合が平年よりも高くなった。

また、チャノキイロアザミウマの被害による果皮傷痕が一部地域で発生した。

(損害防止)

県病害虫防除所の病害虫発生予察情報を各組合へ配布した。

(う め)

平均気温を前5ヶ年平均と比較すると、1～3月まで平年並、4～5月は高めで(4月で2.2℃高、5月で1.7℃高)、6月はやや低め(1.0℃低)であった。開花期以降に降雨が多かった時期は、3月上中旬、4月上旬、5月中旬、6月上中旬だった。特に3月上中旬、4月上旬、6月上中旬については日数の約半分で降雨があり、長雨と日照不足が続いた。また、開花中には降雪があった(3月10日と11日)。開花始めは「鶯宿」3月4日(平年比2日早)、「南高」3月6日(同2日遅)、「白加賀」3月13日(同2日遅)、満開期は「鶯宿」3月11日(同2日早)、「南高」3月16日(同3日遅)、「白加賀」3月20日(同2日遅)で、ほぼ平年並であった。開花期以降は平年と比べて効果の落果が目立ち、5月15日時点での着果量は平年の6割程度であった。今年の着果量の減少については、開花期間の長雨や降雪で花(おしべやめしべ)が長期間濡れたり、訪花昆虫の活動が鈍ったことにより受精不良であった。

(損害防止)

県病害虫防除所の病害虫発生予察情報を各組合へ配布した。

(4) 畑作物共済関係

(大豆引受)

年度	再保険区分	共済目的	類区分	組合名	組合員数	引受面積	引受収量	共済金額	保険金額	徴収保険料	交付金又は納入再保険料	手持保険料		
					人	a	kg	円	円	円	円	円		
平成27年度	一筆単位方式	大豆	1類	やまと北部	1	438.7	4,698	512,838	461,554	7,179	/	/		
				磯城	5	2,755.1	34,543	9,852,639	8,867,375	137,938				
				中	2	36.4	307	31,314	28,182	438				
				計	8	3,230.2	39,548	10,396,791	9,357,111	145,555				
				磯城	1	31.9	291	248,514	223,662	4,609				
			2類	宇陀	49	1,128.9	11,552	12,325,984	11,093,386	228,661				
				中	4	92.6	778	497,920	448,128	9,237				
				計	54	1,253.4	12,621	13,072,418	11,765,176	242,507				
				合計	62	4,483.6	52,169	23,469,209	21,122,287	388,062			449,215	837,277

(茶引受)

年度	再保険区分	共済目的	類区分	組合名	組合員数	引受面積	引受収量又は基準生産金額	共済金額	保険金額	徴収保険料	交付金又は納入再保険料	手持保険料														
					人	a	kg(円)	円	円	円	円	円														
平成26年度	半相殺方式	茶	1類	やまと北部(計)	3	545.0	15,678	5,330,520	4,797,468	29,851	/	/														
			2類																							
			3類																							
			4類																							
			計										延実	5	667.0	18,690	6,354,600	5,719,140	49,565	45,284	94,849					
	共済害方収入	茶	やまと北部(計)	9	2,374.3	33,278,234	26,617,000	23,955,300	344,694	86,502			431,196													
														延実	14	3,041.3	-	32,971,600	29,674,440	394,259	131,786	526,045				
														平成27年度	半相殺方式	茶	1類	やまと北部(計)	2	491.0	14,567	5,098,450	4,588,605	28,552	/	/
																	2類									
																	3類									
4類																										
計	延実	3	102.0	2,794	977,900	880,110	18,824	43,274	90,650																	
共済害方収入	茶	やまと北部(計)	7	2,379.0	32,001,871	25,597,000	23,037,300	331,484	83,188	414,672																
											延実	10	2,972.0	-	31,673,350	28,506,015	378,860	126,462	505,322							

引受の概況

(大豆)

平成27年産白大豆(1類)の引受面積は、経営所得安定対策加入者の75%の引受けを行い、他作物からの転換やブロックローテーションにより70.1a増加の3,230.2aとなった。黒大豆(2類)では、作付面積の縮小や価格の安定している枝豆への切替え等により395.6a減少の1,253.4aとなった。合計では、引受戸数20戸減少の62戸、引受筆数66筆減少の509筆、引受面積325.5a減少の4,483.6aとなった。

(茶)

半相殺方式は、後継者不足により引受戸数1戸減少の2戸、引受面積74.0a減少の593.0aとなった。災害収入共済方式は、近年の販売価格の低迷による後継者不足等により引受戸数2戸減少の7戸、引受面積4.7a増加の2,379.0aであった。合計では、引受実戸数3戸減少の9戸、引受面積69.3a減少の2,972.0aであった。

(大豆被害)

畑作物共済再保険区分	共済的	類区分	組合名	被害 被組合員数	共済減収量	被害面積	共済金	保険金	共済金 共済金額
				人	kg	a	円	円	%
一筆単位方式	大豆	1 類	やまと北部						-
			磯城中和	1	784	135.5	223,440	201,096	2.27
			計	1	784	135.5	223,440	201,096	2.15
		2 類	磯城宇陀中和	30	1,494	386.3	1,594,098	1,434,688	12.93
			計	30	1,494	386.3	1,594,098	1,434,688	12.19
			計	31	2,278	521.8	1,817,538	1,635,784	7.74

(茶被害)

畑作物共済再保険区分	共済的	類区分	組合名	被害 被組合員数	共済減収金額	被害面積	共済金	保険金	共済金 共済金額	
				人	円	a	円	円	%	
半相殺方式	茶	1 類	やまと北部 (計)						-	
		2 類							-	
		3 類								-
		4 類								-
		計								-
災害収入共済方式	茶		やまと北部 (計)						-	

(支払)

畑作物共済再保険区分	項目	支払年月日	支払保険金	保険金				支払財源	実支払保険金
				再保険金	手持保険料 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額		
一筆単位方式	大豆	平成28年3月18日	1,635,784	490,487	837,277			308,020	100.0
半相殺方式	茶		0						
災害収入共済方式	茶		0						

被害及び評価の概況

(大豆)

平坦部の一部の白大豆圃場では、播種後の降雨により土壌湿潤害が発生し、減収に繋がった。また、中山間地域の黒大豆圃場では、イノシシ・シカによる獣害と移植後及び8月から9月にかけての降雨により土壌湿潤害が発生し、収穫皆無の圃場もあった。

(茶)

半相殺方式については、3割以上の被害となる共済事故が発生せず、無被害であった。災害収入共済方式については、農家からの被害申告がなく無被害であった。

(損害防止)

県病害虫防除所の病害虫発生予察情報を各組合へ配布した。

(損害防止)

県病害虫防除所の病害虫発生予察情報を各組合へ配布した。

(5) 園芸施設共済関係

(引 受)

施設区分	項目	組合 数	組合 員数	引 棟	受 数	設置面積 a	共済価額 円	共済金額 円	保険金額 円	徴収保険料 円	交付金又は 納入再保険料 円	手持保険料 円
ガラス室	I類	1	1	2	3.81	2,834,000	2,266,000	2,039,400	6,435	4,074	10,509	
ガラス室	II類	6	33	41	341.58	335,285,000	268,209,000	241,388,100	367,898	218,259	586,157	
小 計		実 6	34	43	345.39	338,119,000	270,475,000	243,427,500	374,333	222,333	596,666	
プラスチックハウス	I類	1	1	1	1.02	182,000	145,000	130,500	2,017	2,211	4,228	
プラスチックハウス	II類	7	928	3,749	10,064.21	1,614,429,000	1,286,572,000	1,157,914,800	14,003,116	5,350,896	19,354,012	
プラスチックハウス	III類	7	54	80	1,193.58	387,336,000	309,822,000	278,839,800	1,539,878	882,340	2,422,218	
プラスチックハウス	IV類甲	7	32	49	303.95	108,915,000	87,113,000	78,401,700	564,801	418,665	983,466	
プラスチックハウス	IV類乙	5	5	10	50.98	26,113,000	20,886,000	18,797,400	67,834	75,695	143,529	
プラスチックハウス	V類	5	12	18	152.87	84,445,000	62,737,000	56,463,300	105,126	78,973	184,099	
プラスチックハウス	VI類	7	135	668	1,268.64	160,741,000	128,328,000	115,495,200	2,004,525	920,863	2,925,388	
プラスチックハウス	VII類	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	
小 計		実 7	1,167	4,575	13,035.25	2,382,161,000	1,895,603,000	1,706,042,700	18,287,297	7,729,643	26,016,940	
合 計		実 7	1,201	4,618	13,380.64	2,720,280,000	2,166,078,000	1,949,470,200	18,661,630	7,951,976	26,613,606	

引受の概要

役職員等による未加入農家への加入推進により新規96棟、増設等により79棟の計175棟の新規加入があったが、農家の高齢化及び後継者不足等による離農・規模縮小や園芸施設共済の制度改正による掛金の上昇等で全体として戸数122戸(対前年比90.8%)、棟数594棟(対前年比88.6%)の減少となった。

(組合別内訳)

組合名	項目	組合員数	引受棟数	設置面積 a	共済価額 円	共済金額 円	保険金額 円	徴収保険料 円
やまと北部		305	1,023	3,075.05	446,308,000	356,439,000	320,795,100	2,757,536
北和		251	659	2,512.26	657,354,000	525,597,000	473,037,300	3,150,024
磯城		166	522	1,658.19	304,044,000	243,030,000	218,727,000	2,879,856
宇陀		242	1,715	3,074.30	458,878,000	366,426,000	329,783,400	4,905,908
中和		102	240	902.73	238,735,000	190,892,000	171,802,800	1,866,381
葛城		70	280	961.07	246,541,000	189,061,000	170,154,900	1,271,233
南和		65	179	1,197.04	368,420,000	294,633,000	265,169,700	1,830,692
計		1,201	4,618	13,380.64	2,720,280,000	2,166,078,000	1,949,470,200	18,661,630

(被 害)

施設区分	項目	被 害			損 害 の 額	支払共済金	支払保険金	共 済 金 共済金額
		組 合 数	組 合 員 数	棟 数				
ガ ラ ス 室	I 類							
ガ ラ ス 室	II 類							
	小 計							
プ ラ ス チ ッ ク ハ ウ ス	I 類							
プ ラ ス チ ッ ク ハ ウ ス	II 類	7	71	109	4,960,155	3,939,500	3,545,502	0.31%
プ ラ ス チ ッ ク ハ ウ ス	III 類	3	6	6	654,325	523,458	471,110	0.17%
プ ラ ス チ ッ ク ハ ウ ス	IV 類甲	1	2	2	60,406	48,293	43,463	0.06%
プ ラ ス チ ッ ク ハ ウ ス	IV 類乙							-
プ ラ ス チ ッ ク ハ ウ ス	V 類							
プ ラ ス チ ッ ク ハ ウ ス	VI 類	3	18	22	692,383	552,454	497,197	0.43%
プ ラ ス チ ッ ク ハ ウ ス	VII 類							
	小 計	実 7	97	139	6,367,269	5,063,705	4,557,272	0.27%
	合 計	実 7	97	139	6,367,269	5,063,705	4,557,272	0.23%

被害の概要

7月16日～17日の台風11号の接近により、被害棟数75棟、共済金2,528,667円。1月19日～20日の降雪および突風により、被害棟数24棟、共済金1,185,304円。その他、前線の影響等による突風の事故が季節を問わず発生し、被覆物及び本体に被害を受けた。

支払共済金・支払保険金の内訳

	支払共済金のうち	支払保険金のうち	備 考
撤 去 費 用	0	0	
本 体 復 旧 費 用	0	0	
附 帯 復 旧 費 用	0	0	

(損害防止)

共済事故を未然に防ぎ、経営の安定と組員負担の軽減を図ることを目的に、気象情報の提供を行うとともに、組合の行う損害防止事業に対し経費の一部を負担した。

(組合別内訳)

組合名	項目	被害組員数	被害棟数	共済価額	共済金額	損害の額	支払共済金	支払保険金	再保険金
やまと北部		11	12	4,670	3,732	342,174	273,303	245,967	0
北 和		10	10	7,921	6,331	523,571	418,430	376,582	0
磯 城		11	11	2,947	2,352	335,214	267,408	240,661	0
宇 陀		36	74	18,199	14,528	3,468,842	2,768,318	2,491,456	279,459
中 和		15	16	10,038	8,024	603,006	481,835	433,643	0
葛 城		9	11	7,275	5,529	569,703	434,681	391,208	0
南 和		5	5	25,231	20,182	524,759	419,730	377,755	0
合 計		97	139	76,281	60,678	6,367,269	5,063,705	4,557,272	279,459

(支 払)

実 支 払 保 険 金	保険金支払財源			保険金支払財源			実支払保険金 保 険 金
	再 保 険 金	手持保険料充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	そ の 他		
円 4,557,272	円 279,459	円 4,277,813	円	円	円	% 100.0	

(6) 任意共済関係

1 建物共済

(引 受)

(1) 農家建物

項目 組合名	加入棟数	保険金額 (共済金額)	保険料 (共済掛金)		計	1棟当たり平均 保険 (共済) 金額	再共済掛金	再共済手数料収入
			純保険料 (純共済掛金)	賦 課 金				
やまと北部	16,394	201,816,280	91,730,306	10,229,475	101,959,781	12,310		
北 和	5,904	47,764,020	24,832,801	2,538,013	27,370,814	8,090		
磯 城	5,944	34,160,830	18,525,285	1,870,735	20,396,020	5,747		
宇 陀	6,932	71,064,780	40,359,037	3,991,028	44,350,065	10,252		
中 和	8,744	65,650,300	33,739,241	3,524,941	37,264,182	7,508		
葛 城	4,864	43,332,520	24,154,923	2,294,902	26,449,825	8,909		
南 和	5,018	40,490,480	23,296,843	2,298,361	25,595,204	8,069		
計	53,800	504,279,210	256,638,436	26,747,455	283,385,891	9,373	130,712,892	47,827,345

総共済掛金額 435,731,214円
再共済手数料割合 火災 40.50%
再共済割合 総合 23.40%

引受の概要

世代交代による保険の見直し等により、引受戸数772戸減の32,909戸、引受棟数1,244棟減の53,800棟、共済金額7,834,560千円減の504,279,210千円となった。
火災共済・総合共済別では、近年の異常気象による自然災害及び東南海地震への

備えから総合共済への移行等により、火災共済では、引受棟数1,340棟減の47,869棟、共済金額8,695,130千円減の455,481,930千円、総合共済では、引受棟数96棟増の5,931棟、共済金額860,570千円増の48,797,280千円となった。

(2) 団体建物

加入棟数	共済金額	共 済 掛 金			1棟当たり平均 保険 (共済) 金額
		純共済掛金	賦 課 金	計	
棟	千円	円	円	円	千円
9	304,500	121,911	55,146	177,057	33,833

引受の概要

事務所移転に伴う構造区分の変更により、共済掛金が減少した。

(事 故)

(1) 農家建物

項目 組合名	事故棟数	加入総保険金額 (共済金額) (i)	支払保険 (共済) 金 (ii)		計	再共済金	被 害 率 (ii) / (i)	備 考
			火 災	風 水 害 等				
やまと北部	42	740,500	20,344,703	760,366	21,105,069	6,331,501	2.85	
北 和	9	56,000	930,015	0	930,015	279,003	1.66	
磯 城	4	98,000	1,109,575	38,174	1,147,749	344,324	1.17	
宇 陀	17	157,800	565,646	858,901	1,424,547	414,556	0.90	床下等 支払共済金12,670円 再共済金17,801円減額
中 和	11	173,900	342,133	207,432	549,565	164,865	0.32	
葛 城	20	261,780	16,332,699	1,245,454	17,578,153	5,273,437	6.71	
南 和	14	142,000	9,628,088	10,236,881	19,864,969	5,959,486	13.99	
計	117	1,629,980	49,252,859	13,347,208	62,600,067	18,767,172	3.84	

事故の概況

総事故数は117棟と昨年度より96棟減少、総支払共済金は 62,600,067円と27,252,695円減少となった。
全焼事故は4棟、支払共済金は38,078,427円と総支払共済金の61%を占める結果となった。全焼事故の原因は風呂の空焚き、電気配線の漏電、電気器具の過熱となっている。

事故原因のトップは、落雷で29棟が被害を受け、総事故棟数の25%を占めた。続いて車両の飛び込みによる被害20棟、盗難による汚損・毀損の被害19棟となった。

2 農機具損害共済

(引 受)

組合名	項目 加入台数	保険金額 (共済金額) 千円	保険料 (共済掛金)		計	1台当たり平均 保険 (共済) 金額 千円
			純保険料	賦課金		
やまと北部	205	500,250	2,153,129	161,313	2,314,442	2,440
北 和	131	234,790	948,153	75,791	1,023,944	1,792
磯 城	45	122,980	489,101	39,713	528,814	2,733
宇 陀	66	143,080	569,051	46,193	615,244	2,168
中 和	16	24,190	96,209	7,808	104,017	1,512
葛 城	25	66,610	264,916	21,507	286,423	2,664
南 和	194	551,650	2,190,243	174,938	2,365,181	2,844
計	682	1,643,550	6,710,802	527,263	7,238,065	2,410

引受の概況

スピードスプレー-13台、乗用トラクター-11台、コンバイン9台等の増加があった。一方、乾燥機5台、乗用草刈機4台等が減少した。合計の引受台数は29台増加の682台、共済金額は144,120千円増加の1,643,550千円となった。

(事 故)

組合名	項目 事故棟数	加入総保険金額 (共済金額) (f) 千円	支払保険 (共済) 金 (g)		計	被害率 (g)/(f) %	備 考
			火 災	風 水 害 等			
やまと北部	29	97,100	2,323,185		2,323,185	2.39	
北 和	7	15,100	407,003		407,003	2.70	
磯 城	1	1,400	142,923		142,923	10.21	
宇 陀	1	2,720	87,480		87,480	3.22	
中 和	0	0	0		0	-	
葛 城	1	5,000	192,780		192,780	3.86	
南 和	13	42,410	8,572,366		8,572,366	20.21	
計	52	163,730	11,725,737		11,725,737	7.16	

事故の概況

接触、異物の巻き込み等の稼働中の事故で52台が損傷し、11,725,737円を支払った。全事故機種は、乗用茶刈機15台、コンバイン14台、スピードスプレーヤー10台、乗用トラクター8台、田植機3台、乗用草刈機1台、附属装置1台であった。総支払共済金7,002,000円で、総支払共済金の60%を占める結果となった。

(農機具損害共済原因別事故発生状況)

事故の原因別	事 故 台 数	加入総保険金額 (共済金額) (f) 千円	支払保険金 (共済金) (g) 円	被害率 (g)/(f) %	備 考
稼働中の事故 (異物の巻き込み)	16	50,160	1,255,960	2.50	
稼働中の事故 (接触)	28	88,810	3,171,135	3.57	
稼働中の事故 (衝突)	3	10,500	376,568	3.59	
稼働中の事故 (転覆)	4	9,260	2,422,074	26.16	
稼働中の事故 (墜落)	1	5,000	4,500,000	90.00	
				-	
				-	
				-	